

平成二十五年 造幣局桜の通り抜け

川柳入選句

共 選 森中 惠美子

西出 楓楽

本田 智彦

佳句

(二五句)

又来てねみんなを包み桜ゆれ

大阪府枚方市

倉光 俱子

通り抜け思い離れぬ震災忌

大阪府大阪市

前 たもつ

復興へ塩がま桜皆めでる

大阪府大阪市

和田 侑子

タイガース藤浪勝って通り抜け

大阪府大阪市

田浦 實

速くても遅くても花叱らるる

奈良県奈良市

大年 厨

関山や威風堂々通り抜け

大阪府堺市

野口 撫子

いつまでの命か花に酔いしれる

大阪府堺市

岩田 明子

散り急ぐなかれと諭す通り抜け

大阪府箕面市

吉田 わたる

海鳴りも地鳴りも越えてきた桜

奈良県北葛城郡

菱木 誠

通り抜け今夜求婚しようかな

大阪府大阪市

谷川 ユミ子

花に酔い花に抱かれて独りぼち

大阪府寝屋川市

南 新子

見納めになんかしないぞ通り抜け

大阪府大阪市

内藤 光枝

婿募集娘ただ今八分咲き

大阪府吹田市

魚住 幸子

天国の母と一緒に通り抜け

大阪府吹田市

佐々木 弘子

上向いて今年を主張天の川

大阪府箕面市

久米 穂酒

通り抜けアベノミクスに賭けてみる

大阪府枚方市

碓氷 祥昭

どの八重が綾瀬はるかか通り抜け

大阪府大阪市

雨森 茂喜

飛来する汚染にめげず咲く桜

大阪府堺市

荻野 浩子

咲くもよし散るもみごとな通り抜け

大阪府枚方市

紙屋 クミエ

一斉にスマホの光る天の川

兵庫県伊丹市

田中 倫

西行の気持になって見る桜

大阪府枚方市

松田 叔子

春の雨桜も人ももの静か

大阪府大阪市

柴本 ばっは

地の神のいかり静めよ天の川

大阪府吹田市

樋上 元世

一人来て桜と話す通り抜け

京都府京都市

三宅 満子

枝垂れ桜と友達になる車椅子

大阪府門真市

西 美和子

秀逸

(五句)

造幣局借景に散る花舞台

大阪府堺市

ふじむら 藤村

人の世も桜のように通りぬけ

大阪府大阪市

岸田 有三

一緒にはなれぬお方と通りぬけ

岡山県岡山市

岸野 洋介

アベノミクス桜満開天を突く

大阪府大阪市

辻部 さと子

散り際もどこかりりしい天の川

大阪府河内長野市

村上 直樹

人 デジカメもスマホも歩く通り抜け

奈良県生駒郡

竹永 広義

【評】 正に今の時代を詠んだ句だ。これほどデジタルカメ

ラやスマートフォンが流行するとは誰も予想しなかっただろう。電子機器の発達は無限であるのに桜は毎年同じように咲く。比喩的な句だが時代を捉えている。

地 日本が好きだ好きだという桜

大阪府茨木市

三村 舞

【評】 好きだ好きだと重ねたところに協調性のある句だ。

さくらは日本を象徴する花だ。日本人の心にぴったりのところが好きだ。起因だろう。定型のリズムがこころよく好きだを重ねることによって桜が強調される。

天 通り抜けして決めました樹木葬

大阪府河内長野市

坂上 淳司

【評】

人間の死に葬儀というのがつきものだが、樹木にも命がある。そして樹木医も存在する。最近では骨を埋めた所に樹木を植えるという習わしも出ている。通り抜けで作者はふと感じたのだろう。樹木葬もいいなど。

選者吟

約束をきっちり果たす通り抜け

森中 恵美子

天の川は地上にもあり通り抜け

西出 楓楽

にっぽんのさくら競演通り抜け

本田 智彦